

キリスト教の信仰の世界

主任司祭 吉池 好高

二月を迎え、厳しい寒さの中にも、朝の陽光が輝きを増してきました。

さて、今月号から、わたしたちが洗礼を受けて、カトリック信者となったことによって受け入れたキリスト教の信仰の内容について、あらためて味わうことにいたします。キリスト教の特徴は、その信仰内容がきわめて明確であることです。わたしたちはカトリック信者としてどのようなことを信じているのでしょうか。キリスト教の信仰がどのようなことを意味していると思ったから、洗礼を受けてカトリック信者となったのでしょうか。

キリスト教の信仰内容は、主日のミサの中で唱えている信仰宣言にもっとも端的に表明されています。キリスト教の教会に伝えられてきた、信仰宣言に結晶している信仰内容を受け入れて信じることによって、わたしたちはカトリック信者となったのです。わたしたちのカトリック信者としての信仰は洗礼の時に信仰を宣言すれば、それで卒業というものではありません。ミサのたびごとに信仰宣言をするのは、洗礼の時に受け入れたキリスト教の信仰に基づいて生きる決意を新たにするためです。

繰り返しになりますが、わたしたちは、日常生活の中で経験するさまざまなことをあれこれと考えて、自分の信念に基づいて、神を信じたものではありません。わたしたちは、具体的な教会と出会い、その教会の中に伝えられてきたキリスト教の信仰内容を知って、それを自分の経験してきたことと突き合わせて受け入れることによって、カトリック信者となるのです。洗礼を受けてカトリック信者となったことによって、わたしたちは、いわば二つの世界に生きる者になったのです。つまり、わたしたちは現実と呼ばれる日常の生活の世界とカトリック信者として生きるように招かれているキリスト教の信仰の世界を生きる者たちとなったのです。わたしたちはカトリック信者としての信仰の世界において、神と神の御子イエス・キリストと出会うのです。洗礼によって受け入れたキリスト教の信仰の世界が現実の世界に生きるわたしたちの生活にどの程度浸透するかが問われているのです。